

2019年 代表挨拶

明けましておめでとうございます。

ここ数年、政治的に不安定な地域の拡大、グローバル化と保護主義の経済的な相克、米中二大
大国間の軋轢など、「不確実性」の規模・インパクトがますます増大しており、ビジネスの進むべき方向を
見定めるためには一段高いレベルのリスクを把握し分析することが要求されてきています。

日本国内では競争優位性・労働環境管理あるいは品質保証などの面で、組織や仕組みが構造的に疲弊
し、さらに変容する顧客・サプライヤーとの関係への対応の遅れなどから、日本市場や企業が備えるべき
固有の不確実性リスクも多くの局面で増加しつつあります。

昨今では日本政府が積極的に取り組む姿勢を示している、国連により採択された「持続可能な開発目標
SDGs」活動が広まり、「総合的な社会的責任」への取り組みを担保することが企業の存続や持続的成長
を維持・加速する能動的手段であるとの認識も高まってきています。旧来日本型とされてきた自主管理
申告方式では不足で、「やるべきことが確実に実施・検証され、それを十分に内外に説明できる」ことがよ
り一層明確に求められてきています。

ビューローベリタスは、1828年に船級協会として設立以来、法令・規格への適合性評価サービスを世界
各国で展開してまいりました。今日では、世界最大級の第三者試験・検査・認証(Testing, Inspection &
Certification)機関として、「QHSE & Social Responsibility(品質、健康・安全、環境及び社会的責任)」分
野のコンプライアンス確認を通じ、顧客企業の皆様の事業活動に対する確実性の担保を含め信用・安心
を守るお手伝いをしております。

日本においては1953年に船級協会の検査員事務所を開設以来、あらゆる産業界における第三者試験・
検査・認証機関の役割を全うしてまいりました。近年では食品分析、電子部品や無線認証、社会の持続
性に関する認証やサポート、あるいは資産ストックの信頼価値の向上に関するサービスを提供するなど
事業領域を継続的に拡充し、更なる質の向上に努めております。ビューローベリタスの歴史に裏打ちされ
た経験、高い専門性、グローバルなネットワークを基盤に、2019年もお客様の事業推進の確実性を守る
高品質なサービスを供給するパートナーとなるべく、日々邁進致します。

今年が皆様にとって一層良い年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

2019年1月4日

ビューローベリタスジャパン株式会社 代表取締役社長
佐々木 泰介

佐々木泰介



Move Forward with Confidence